

(あて先)
埼玉県知事

あて
(民間事業者)
所在地 埼玉県〇〇市△△×丁目××番××号
団体名 株式会社〇〇〇〇
役職・代表者名 代表取締役社長 〇〇 〇〇

(リース事業者)
所在地
団体名
役職・代表者名

埼玉県民間事業者CO2排出削減設備導入補助金 交付申請書
(スマート省エネ技術導入事業)

埼玉県民間事業者CO2排出削減設備導入補助金交付要綱第8条第1項の規定に基づき、補助金の交付について関係書類を添えて、次のとおり申請します。

1 交付申請額 金 1,100,000 円

2 添付書類

- (1) 見積書の写し(原則二者以上)(発行後3ヶ月以内で、代表者印等の押印のあるもの)
- (2) 導入予定機器のカタログ等
- (3) 計測・制御対象の設備の定格燃料等消費量及び負荷率を確認できる資料
- (4) 計測・制御対象の設備の写真
- (5) 図面(事業所全体図、導入機器据付図、エネルギー系統図)
- (6) 登記事項証明書
(個人事業者の場合は営業届出済証明書等)(発行後3ヶ月以内のもの)
- (7) 法人県民税・法人事業税の納税証明書
(個人事業者の場合は個人県民税・個人事業税)(発行後3ヶ月以内のもの)
- (8) 決算報告書の写し(直近1年分)
- (9) 埼玉県又は国の事業で受診した省エネルギー診断結果報告書の写し
(過去3か年度以内に受診している場合のみ)
- (10) 賃貸借契約書の写し(対象事業所の所有者でない場合)
- (11) リース契約書(案)及び料金計算書(案)(リース契約の場合)

令和5年度埼玉県民間事業者CO2排出削減設備導入補助金
(スマート省エネ技術導入事業) 重要事項確認書

私(たち)は、本補助金の申請にあたり、次の事項を確認しました。

- 一 要綱等の内容を理解し、虚偽の記載なく本事業計画書を作成しました。
- 二 本補助金にかかる各種の条件や県からの指示事項を財産処分制限期間が完了するまで順守します。
- 三 本補助金と、本補助金の要綱で定める補助金以外の補助金等を重複して受給できないことを理解しました。

四 CO2排出量削減に資する設備等を導入する建屋等は私(民間事業者)が
所有しています。 所有していません。(いずれかにマル)

五 私(民間事業者)は、次に掲げるみなし大企業(※)に
該当します。 該当しません。(いずれかにマル)

※みなし大企業：次のいずれかに該当する中小企業者

- ア 発行済株式の総数又は出資金額の2分の1以上を同一の大企業が所有
- イ 発行済株式の総数又は出資金額の3分の2以上を大企業が所有
- ウ 大企業の役員又は職員を兼ねている者が、役員総数の2分の1以上を占有

令和5年〇〇月〇〇日

(民間事業者)

所在地 埼玉県〇〇市△△×丁目××番××号
団体名 株式会社〇〇〇〇
役職・代表者名 代表取締役社長 〇〇 〇〇

(リース事業者)

所在地
団体名
役職・代表者名

埼玉県民間事業者CO2排出削減設備導入補助金 事業計画書
 (スマート省エネ技術導入事業)

1 事業実施者

民間事業者	事業者	団体名	株式会社〇〇〇			赤字部分を入力してください。 様式第1号交付申請書と一致していること。
		代表者名	代表取締役 〇〇 〇〇			
	主たる事務所の所在地	〒〇〇〇-〇〇〇〇 埼玉県〇〇市△△×丁目×番×号				
	産業分類上大分類	〇〇業				
	資本金・常時使用する従業員数	〇〇万円		〇〇〇人		
みなし大企業の該当要件	ア 発行済株式の総数又は出資金額の2分の1以上を同一の大企業(中小企業者以外をいう。)が所有していることの有無					無
	イ 発行済株式の総数又は出資金額の3分の2以上を大企業が所有していることの有無					無
	ウ 大企業の役員又は職員を兼ねている者が、役員					無
実施場所	事業所名称	〇〇工業			要件への該当の有無を選択 誤りがあると虚偽申請となり、補助金の返還要件に該当しますので申請前に十分御確認ください。	大企業に の 有無
	事業所所在地	〒 〇〇〇-〇〇〇〇 埼玉県〇〇〇市△△×丁目×番×号				
国補助金等への申請有無(予定含む)	有	(国補助金等への申請有の場合) 国の補助事業の名称	〇〇事業			自動入力
連絡先	所属名	〇〇部〇〇課〇〇担当		電話	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇	
	職名	〇〇〇課長		FAX	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇	
	氏名	〇〇〇 〇〇〇		E-mail	〇〇〇@〇〇〇	
	連絡先住所(郵送先)	〒 〇〇〇-〇〇〇〇 埼玉県〇〇市△△×丁目×番×号				

リース事業者(※導入設備をリースで調達する場合のみ記載してください。)

リース事業者	事業者	団体名	株式会社 ■■■■				
		代表者名	代表取締役 ■■■ ■■■				
	主たる事務所の所在地	〒〇〇〇-〇〇〇〇 埼玉県〇〇〇市 △△ ×-×					
連絡先	所属名	〇〇部〇〇課〇〇担当		電話	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇		
	職名	〇〇〇課長		FAX	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇		
	氏名	〇〇〇 〇〇〇		E-mail	〇〇〇@〇〇〇		
	連絡先住所(郵送先)	〒 〇〇〇-〇〇〇〇 埼玉県〇〇〇市△△ ×-×					

2 事業所の直近3か年度の原油換算エネルギー使用量・CO2排出量

事業所で使用した全てのエネルギー(電気、ガス、重油、灯油等)を原油換算・CO2換算した結果を記載してください。

直近3か年度	令和〇〇年度 (3か年度前)	令和〇〇年度 (2か年度前)	令和〇〇年度 (1か年度前)	平均
原油換算エネルギー使用量(kL)	1,500	1,500	1,500	1,500
CO2排出量(t-CO2)	3,000	3,000	3,000	3,000

※原油換算は、別添、簡易版「エネルギー使用量・CO2排出換算シート」を使用して算出してください。

3 事業内容

導入設備	EMS		
事業概要	(スマート省エネ技術の導入による削減対策の概要) (例) ・EMSの導入により設備の稼働状況が見える化し、生産設備やコンプレッサ等の無駄な稼働を改善することによりCO2排出量を削減する。 ・EMSを導入し、事業所の空調を自動制御化することにより、CO2排出量を削減する。		
	年間CO2排出削減予測量	8.8 t-CO2/年	

4 サポート事業者の利用(サポート事業者を利用する場合のみ記入)

サポート事業者	事業者	団体名	〇〇株式会社		
		代表者名	代表取締役社長 〇〇 〇〇		
		主たる事務所の所在地	埼玉県〇〇市△△×丁目×番×号		
		業種/主な業務内容	その他の専門サービス業	主な業務内容	エネルギーマネジメント業務
連絡先	所属名	〇〇部〇〇担当		電話	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇
	職名	〇〇課長		FAX	△△△-△△△-△△△△
	氏名	〇〇 〇〇		E-mail	〇〇〇@△△△.××.〇〇
	連絡先住所 (郵送先)	〒〇〇〇-〇〇〇〇 埼玉県〇〇市△△×丁目×番×号			

5 事業費内訳

(単位 円)

区分	機器費			工事費	サポート費	合計	
	単価	数量	計				
EMS	1,500,000	1	1,500,000	300,000		1,800,000	
計測機器	500,000	1	500,000	500,000		1,000,000	
サポート費			0		500,000	500,000	
			0			0	
補助対象経費	「事業費内訳」の記載に当たっては、事業内容、図面、見積書と整合がとれていること。補助対象内外の主な導入設備の概略仕様、数量の詳細を添付してください。					30万円未満は補助事業対象外	0
							0
							0
							0
計			2,000,000	800,000	500,000	3,300,000	
補助対象外経費	既存設備撤去費					0	
	既存設備移設費					0	
	既存設備にかかる処分費					0	
	諸経費(共通仮設費、一般管理費等)					0	
	その他					0	
計			0	0	0	0	
小計	見積書の合計額(税抜額)と一致すること。					3,300,000	
消費税及び地方消費税額						330,000	
総事業費	見積書の合計額(税込額)と一致すること。					3,630,000	

(注)補助対象経費は導入設備ごとに記載すること。上記に記載しきれない場合は、別途内訳書を添付すること。

6 補助金申請予定額

(単位 円)

(1) 補助上限額

上限額
10,000,000

A

(2) 補助対象経費の1/3以内

(補助対象経費)
3,300,000

×

補助率
1/3

=

算出結果
1,100,000

B

※1万円未満切り捨て

(3) 補助金申請予定額

A及びBのうち、いずれか低い額(※1万円未満切り捨て)

補助申請予定額
1,100,000

7 費用対効果

A 年間CO2排出削減予測量		8.8 t-CO2
B 本補助事業により導入するEMSの計測点数		23 点
C 補助申請額(サポート費に係る金額を除く)(①-②)		0.94 百万円
① 補助申請額(合計)		1.10 百万円
② サポート費に係る補助申請額		0.16 百万円
費用対効果 (A÷B÷C)	EMSの計測点数当たりの、補助金額100万円当たりの CO2削減量	0.407 t-CO2/百万 円・計測点数

8 年間CO2排出削減予測量

(1) 電気設備

No.	EMSによる計測・制御対象設備の名称	設備台数 (台)	設備1台当たりの定格 消費電力	負荷率	一日当 り稼働時 間(h/日)	年間稼働 日数(日)		排出係数	年間CO2排出量 (t-CO2)	EMS計測/計測・ 制御の別	想定削減 率(%)	年間CO2排出 削減予測量 (t-CO2)
		①	②	③	④	⑤		⑥	⑦=①×②×③×④ ×⑤×⑥		⑧	⑨=⑦×⑧
1	コンプレッサ	3	30 kW	0.5	8	300		0.495 t-CO2/千kWh	53.46	計測	2	1.07
2	チラー	2	20 kW	0.3	8	300		0.495 t-CO2/千kWh	14.256	計測	2	0.29
3	空調(冷房)	10	20 kW	0.3	12	330		0.495 t-CO2/千kWh	117.612	計測・制御	3	3.53
4	空調(冷房)	10	15 kW	0.3	12	330		0.495 t-CO2/千kWh	88.209	計測・制御	3	2.65
5												
6												
7												
8												
9												
10												
合 計												7.5

(2) 燃料設備

No.	EMSによる計測・制御対象設備の名称	燃料等の種類	設備台数 (台)	設備1台当たりの定格 燃料消費量	負荷率	一日当 り稼働時 間(h/日)	年間稼働 日数(日)	単位当たり発熱量	排出係数	年間CO2排出量 (t-CO2)	EMS計測/計測・ 制御の別	想定削減 率(%)	年間CO2排出 削減予測量 (t-CO2)
			①	②	③	④	⑤		⑥	⑦=①×②×③×④×⑤ ×⑥×44/12		⑧	⑨=⑦×⑧
1	ボイラ	都市ガス(13A:45MJ)	2	20 Nm3/h	0.3	8	300	45 GJ/千Nm3	0.0136 t-C/GJ	64.63	計測	2	1.29
2													
3													
4													
5													
6													
7													
8													
9													
10													
合 計												1.3	

(備考) 対象設備が10台を超える場合、及び、上記表による算定が困難な場合は、別紙(任意様式)により算定し、下記(3)に記入してください。

(3) その他任意様式による算定(任意様式による算定資料を添付してください)

年間CO2排出削減予測量(t-CO2)	0.0
---------------------	------------

年間CO2排出削減予測量 (1)~(3)合計 (小数点以下四捨五入)	8.8 t-CO2
--	---------------------

9 導入するシステム・設備

(1)システム・設備の名称、機器構成、仕様

主装置(名称・型番) ABCD-123 入出力装置 コントロールユニット 空調・照明制御盤 端末収納盤 ・ ・ 計測器 CT5A/50A/100A/250A/400A/600A ○○○○ ○○○○○○○○ ・ ・
--

(2)システム・設備の制御機能

制御機能の有無	有
(制御の内容と運用改善効果を具体的に記載する) (制御機能の説明) ○. 照明省エネ制御 タイムスケジュール及び人感センサにより照明機器の点灯時間を最小化する。対象設備:照明機器 ○. 外気取入れ量制御 室内CO2濃度によって冷暖房負荷となる外気取入れ量を制御し熱源エネルギーを削減する。対象設備:空調器、換気ファン ○. 空調設定値緩和制御 室内外環境条件と省エネ目標値との相対により、空調温度設定値を緩和してエネルギー使用量を削減する。対象設備:空調器 ○. 熱源機運転台数制御 空調負荷熱量により熱源機の必要台数を演算し運転台数を制御し熱源エネルギーを削減する。対象設備:冷温水ヒートポンプチラー ○. 空調スケジュールと最適起動停止制御 空調機を就業時間に合わせて自動運転させるとともに最適起動停止制御と起動時外気ダンパー制御で省エネを図る。対象設備:空調機 ○. 間欠運転制御 空調機や換気ファンに対して周期的に停止時間(緩和時間)を設け節電運転を図る。対象設備:空調機、換気ファン	

10 計測・制御対象一覧

EMSでの計測又は制御を予定する箇所を記載してください。なお、既存の計測器等のデータを本事業で導入するEMSに取り込む場合は、既存計測器等についても記載してください。

No.	対象設備	設置場所	計測項目	計測機器種別	計測器型式	計測 点数	EMS 制御 点数	補助対 象設備	補助対象の 計測・制御 点数
						①	②		③=①+②
1	コンプレッサNo.1	工場棟1F	電力	電力量計	ABC12-345	1	0	○	1
2	コンプレッサNo.2	工場棟2F	電力	電力量計	ABC12-345	1	0	○	1
3	コンプレッサNo.3	工場棟3F	電力	電力量計	ABC12-345	1	0	○	1
4	チラー	機械室	電力	電力量計	ABC12-345	2	0	○	2
5	空調	工場棟	電力	電力量計	ABC12-345	10	10	○	20
6	冷水	工場	温度	温度センサ	GHxxx-xxx	5	0	○	5
7	ボイラ	機械室	燃料使用量	流量計	BFxxx-xxx	1	0	○	1
8	コンプレッサNo.5	工場棟3F	電力	電力量計	ABC12-345	1	0		0
9	チラーNo.3	機械室	電力	電力量計	ABC12-345	1	0		0
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
31									
32									
33									
34									
35									
36									
37									
38									

※ 記入欄が不足する場合には、同様の様式により追加記載すること。

本補助事業により導入するEMSの計測・制御点数(③合計)	31
本補助事業により導入するEMSの計測点数(①合計)	23

11 システム概要図

